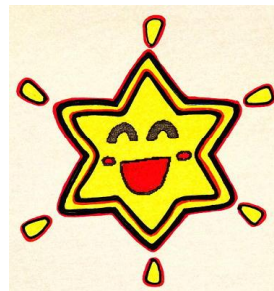




自分の中にある光るものの存在に気づく

大和 利弥



「明珠在掌（みょうじゅたなごころにあり）」という禅語があります。明珠（宝物・貴重な物）はあなたの手の中にありますよ。つまり、私たちは誰も生まれながらにして清らかな心を持っていて、それゆえに私たち一人ひとり、誰もが大切な存在であり、大切なものであるという意味です。私はこの禅語を座右の銘にしています。日頃の生活で何かと上手くいかなかったり、これまでの人生で挫折しかけたりしたときには、「自分は宝物を持っているのだ、自信をもって行こう！」とこの禅語に励まされ勇気づけられてきました。今振り返ってみると、若かった時は自分が持っている美しい宝物に気づかず、人と比べてコンプレックスを感じたり、外ばかり見てもがいたり、苦しんだりしていたように思います。この禅語に出会い、心にとめて生活することで、幸せを感じながら仕事に趣味に励むことができるようになってきました。

先日、AI（人工知能）を使って、「自分のよさに気づくには？」と検索してみました。すると、5つの回答が返ってきました。1. 感謝すること。2. 自分にご褒美をあげる。こと。3. 新しいことに挑戦すること。4. 人々と交流すること。5. 自分の内面を探究すること。どの回答もなるほどと感じましたが、この5つの中で特に3つめの回答に共感しました。例えば、どんなに身体能力が高かったとしてもスポーツを全くしなければそれに気がつく事がなく過ぎ去っていきます。人はそこまで分かりやすくはないのですが、ただ気がつく事で変わる人生もあると思います。だから、それに気がつけば、磨くことが出来る。磨いていけば、いずれ光輝きだす。

私が本校に赴任して2ヶ月と半月が経ちました。本校の児童はとても素直です。これからも『新野小学校ならではの』のいろいろな体験活動を通して、児童一人ひとりが持っている宝物（個性や能力）に自らが気づき、信じて磨き、明るく輝くことができるような教育活動を推進していきたいと考えています。



